

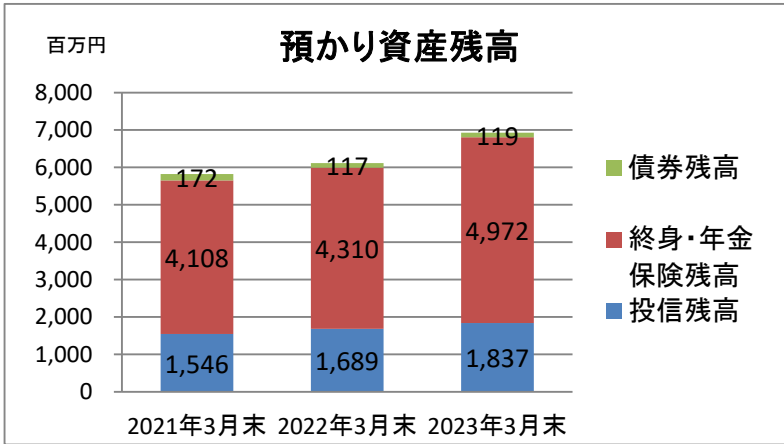
# お客さま本位の業務運営に関する取組状況について

佐野信用金庫

佐野信用金庫では、「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」の定着度合いを客観的に評価いただくため、取組状況を定期的に公表します。

(2023年3月末時点)

## 1. 預かり資産の残高

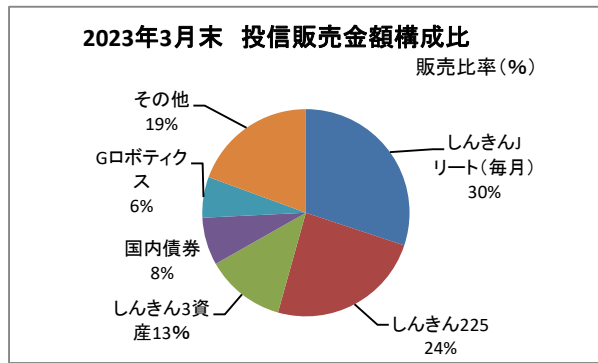


預かり資産(投資信託・保険商品・債券)の残高は、投資信託及び保険商品の残高の伸びにより、3期連続で増加しました。

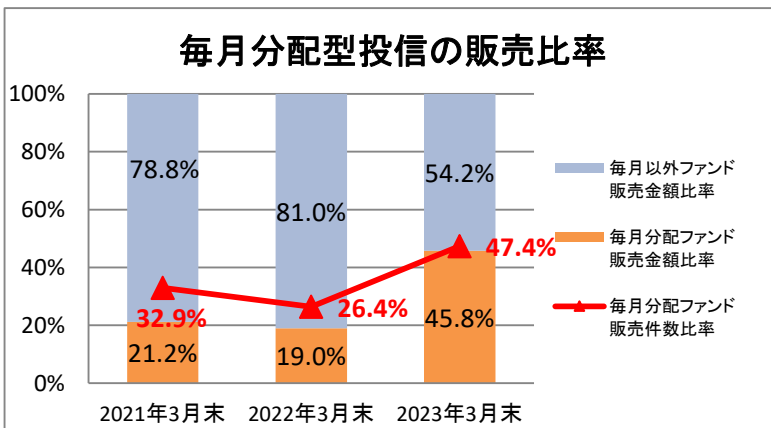
## 2. 投資信託の販売上位商品

お客さまにご購入いただいた投資信託の販売金額上位5商品は、以下のとおりです。今後一層、お客さまの知識・経験・財産状況・投資目的等に応じた商品を提案してまいります。

順位	ファンド名	投資対象	毎月分配
1位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	国内リート	○
2位	しんきんインデックスファンド225	国内株式	
3位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	バランス	○
4位	しんきん国内債券ファンド	国内債券	
5位	グローバルロボティクス株式	国内外株式	



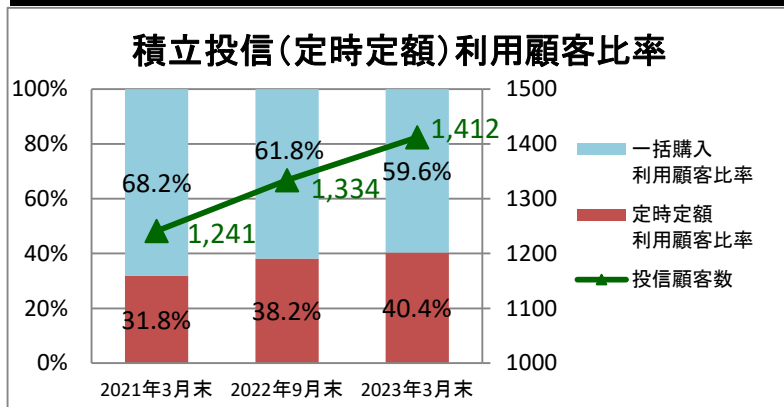
## 3. 投資信託販売に占める毎月分配型の販売比率



投資信託販売に占める毎月分配型ファンドの販売金額比率は、前年比で増加しました。同販売件数比率も前年比で増加となりました。

ご高齢のお客さまより年金を上積みする目的で毎月分配型のしんきんJリートのご購入が多かったためであり、引き続きお客さまのご意向を確認のうえ最適な商品を提案してまいります。

#### 4. 投資信託顧客に占める積立投資信託(定時定額取引)の比率

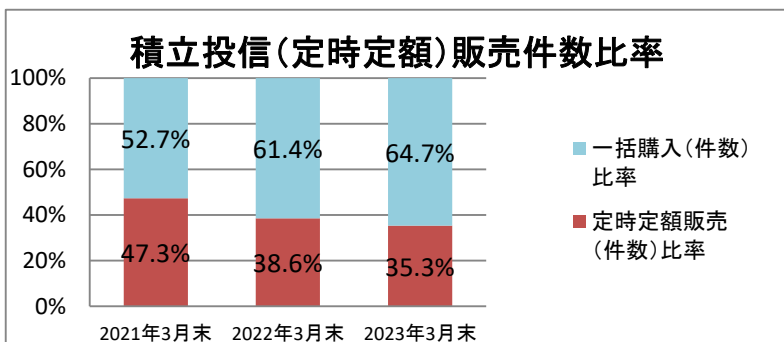


投資信託顧客(1,412人)に占める積立投資信託(定時定額取引)の利用顧客(570件)比率は、前年比で増加しました。

また、投資信託販売に占める積立投資信託(定時定額取引)の販売件数比率は、前年比で減少しました。

ご高齢のお客さまより年金を上積みするため分配金を目的とした一括購入でのしんきんJリートのご購入が多かったことが要因です。

お客さまの長期・安定的な資産形成のため、継続して積立投資信託(定時定額取引)を提案してまいります。



#### 5. FP資格保有者比率

当金庫では、FP(ファイナンシャルプランニング技能士)資格の取得奨励を図っております。今後一層お客さまのお役に立つため、職員の専門性を高め、コンサルティング能力向上を目指します。

	2021年3月末	2022年3月末	2023年3月末
FP資格保有者比率	47.8%	51.1%	51.7%

※FP1,2,3級が対象

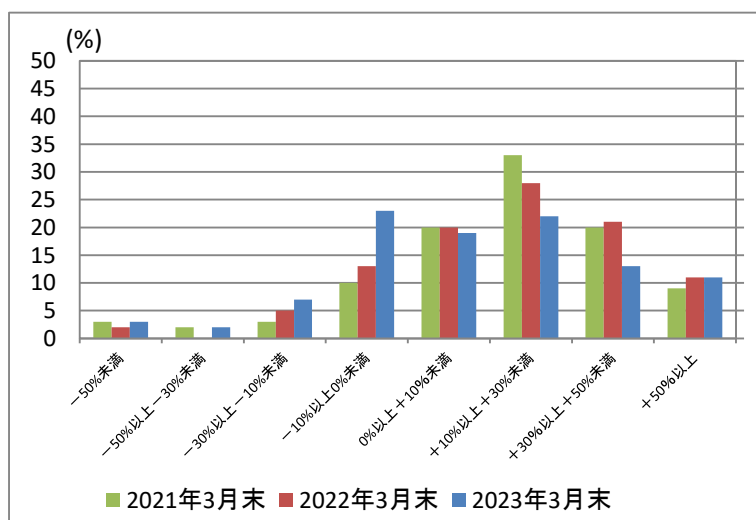
## 6. 投資信託・保険商品の取扱い商品数

お客さまにとって最適な商品をお選びいただけるよう、以下の商品分類別のラインナップを取り揃えております。

投資信託		2021年3月末		2022年3月末		2023年3月末	
		取扱商品数		取扱商品数		取扱商品数	
			毎月分配		毎月分配		毎月分配
債券型	国内	1	0	1	0	1	0
	海外	3	1	3	1	3	1
株式型	国内	4	0	4	0	4	0
	国内外	2	0	2	0	2	0
	海外	3	0	3	0	3	0
リート型	国内	2	1	2	1	2	1
	国内外	1	1	1	1	1	1
	海外	2	1	2	1	2	1
バランス型		2	1	2	1	2	1
合計		20	5	20	5	20	5

保険商品		2021年3月末		2022年3月末		2023年3月末	
		取扱商品数		取扱商品数		取扱商品数	
生保	個人年金保険(定額)	1		1		1	
	個人年金保険(変額)	0		0		0	
	終身保険(円貨)	3		3		3	
	終身保険(外貨)	0		0		0	
	定期保険	2		2		2	
	がん保険	1		1		1	
	医療保険	4		4		4	
	学資保険	0		0		0	
損保	傷害保険	3		3		3	
	火災保険	1		1		1	
	債務返済支援保険	2		2		2	
合計		17		17		17	

## 7. 投資信託運用損益別顧客比率



2023年3月末において投資信託の運用損益が「プラス」となったお客さまの比率は、全体の65%に低下しました。

インフレ抑制のため米欧の政策金利上昇に伴う債券価格の低下および海外のグロース株の低下並びに日米金利差拡大による円安やリート相場の低下に伴い運用利益率が低下したことが要因です。

(2022年3月末は全体の80%)  
(2021年3月末は全体の82%)

※ 基準日: 2023年3月末  
(原則として2003年6月以降の数値をもとに算出)  
※ 基準日までに全部売却・償還された銘柄は対象外

## 8. 投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン

当金庫の投資信託残高上位20銘柄について、コストやリスクに対するリターンは以下のとおりです。  
2023年3月末時点の平均コスト1.40%、平均リスク12.16%に対し、平均リターンは3.85%となりました。

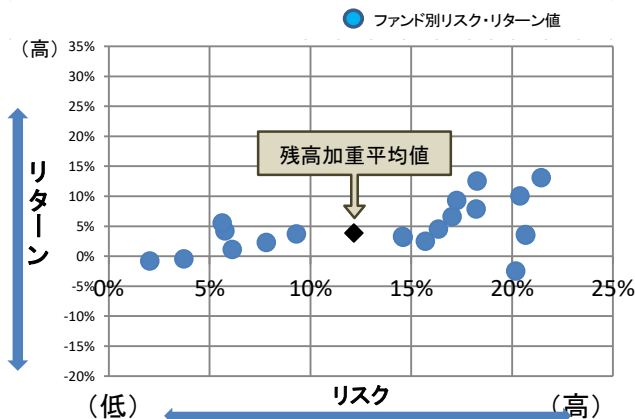
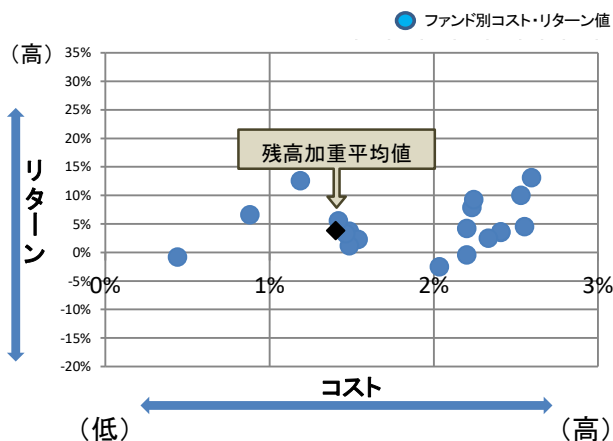
2023年3月末

コスト・リターン

加重平均コスト1.40%、リターン3.85%

リスク・リターン

加重平均リスク12.16%、リターン3.85%



(ご参考)2023年3月末 投資信託預かり残高上位20銘柄

順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.49%	14.80%	3.17%
2	しんきん国内債券ファンド	0.44%	2.04%	-0.82%
3	しんきんインデックスファンド225	0.88%	17.04%	6.60%
4	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	9.31%	3.74%
5	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年1回決算)	2.60%	21.45%	13.09%
6	三井住友・グローバル・リート・オープン(3ヵ月決算型)	2.41%	20.68%	3.52%
7	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.54%	7.81%	2.31%
8	新光US-REITオープン	2.23%	18.22%	7.87%
9	AI(人工知能)活用型世界株ファンド	2.24%	17.25%	9.27%
10	投資のソムリエ	2.20%	3.72%	-0.44%
11	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ)	1.19%	18.26%	12.55%
12	女性活躍応援ファンド	2.04%	20.19%	-2.50%
13	ニッセイ/パナトム・毎月分配インカムオープン	2.20%	5.76%	4.20%
14	しんきん世界アロケーションファンド	1.49%	6.12%	1.15%
15	しんきんJリートオープン(1年決算型)	1.46%	14.58%	3.32%
16	三井住友・グローバル・リート・オープン(3ヵ月決算型)	2.41%	20.67%	3.60%
17	コーポレート・ボンド・インカム(為替ノーヘッジ)(毎月決算型)	1.42%	5.63%	5.56%
18	ダイワ・バリュー株・オープン	2.33%	15.70%	2.47%
19	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ノーヘッジ)	2.53%	20.40%	10.03%
20	日興ジャパンオープン	2.55%	16.35%	4.53%
上位20銘柄の残高加重平均値		1.40%	12.16%	3.85%

※ 設定後5年以上の投資信託が対象(基準日:2023年3月末)  
 ※ コストの算出: 購入時手数料(消費税込)÷5年+信託報酬率(消費税込)  
 ※ リスクの算出: 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)  
 ※ リターンの算出: 過去5年間のトータルリターン(年率換算)